

土木部発注工事におけるICT活用工事（ICT河川浚渫工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事（ICT河川浚渫工）の試行要領 【受注者希望型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事（ICT河川浚渫工）【受注者希望型】」（以下、「ICT河川浚渫工」という。）を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT河川浚渫工とは、以下に示す施工プロセス（①～④）においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3次元起工測量 <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 音響測深機器による起工測量 2) <u>その他の3次元計測技術</u>による起工測量（※） <p>（※）<u>従来の断面管理においてTSを用いて測定し、計測点同士をTINで結合する方法で断面間を3次元的に補完することを含む。</u></p> ② 3次元設計データ作成 <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> ③ ICT建設機械による施工 <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1)～2) に示す技術（ICT建設機械）により施工を実施する。</p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 2) 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 ④ | <p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事（ICT河川浚渫工）の試行要領 【受注者希望型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事（ICT河川浚渫工）【受注者希望型】」（以下、「ICT河川浚渫工」という。）を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT河川浚渫工とは、以下に示す施工プロセス（①～⑤）においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3次元起工測量 <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 音響測深機器による起工測量 2) レッド測深等従来手法による起工測量（※） <p>（※）上記2) による起工測量を実施した場合は、計測点同士を結合し、TINデータの作成ができるように測量データを取得するものとする。</p> ② 3次元設計データ作成 <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>なお、発注者が貸与する3次元データを活用する場合も、ICT活用工事とする。③</p> ③ ICT建設機械による施工 <p>②で作成した3次元設計データを用い、以下1) に示すICT建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和7年3月31日 国土交通省告示第240号）付録1測量機器検定基準2－6の性能における検定基準を満たすこと。</p> ④ 3次元MCまたは3次元MG建設機械 ※MC：「マシンコントロール」の略称、MG：「マシンガイダンス」の略称 <p style="text-align: center;">(削除)</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に</p> |

土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|--|---|
| <p>3次元出来形管理資料等の作成 <u>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</u> <u>↙</u> <u>出来形管理</u> <u>下記1)～3)のいづれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</u> 1) 音響測深機器による出来形管理技術 2) 施工履歴データによる出来形管理技術 3) その他の3次元計測技術による出来形管理技術 ⑤出来形確認及び検査 現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。 ⑥ (追加) (追加)</p> <p>納品 ①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T河川浚渫工の実施にあたり、施工プロセス（①～⑥）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。 なお、プロセスの選択は、「③ I C T建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>3総合評価落札方式（施工計画評価型・施工能力評価型）において、加点対象となるのは、第2条に示す全ての施工プロセス（①～⑥）において I C Tを活用する場合に限る。</p> <p>(対象とする工事)</p> <p>第3条 I C T河川浚渫工は、下記工種を含む全ての発注工事を対象とする。ただし、I C T活用工事（I C T河川浚渫工）【発注者指定型】の対象とする工事は除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 浚渫工（バックホウ浚渫船） <ul style="list-style-type: none"> ・浚渫船運転工 2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事 | <p>に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する3次元マシンガイダンス技術を用いて、河川浚渫を実施する。但し、現場条件により、③ I C T建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとする。</p> <p>④3次元出来形管理等の施工管理 (削除)</p> <p>③による工事の施工管理において、以下の出来形管理を実施する。 (1) 出来形管理 出来形管理 にあたっては、出来形管理 图表（ヒートマップ）を作成し、出来形の良否を判定する管理 手法（面管理）とし、以下1)にて実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理 (削除)</p> <p>の計測範囲において、1m間隔以下（1点/m²以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>1) 音響測深機器を用いた出来形管理 なお、以下2)の方法で実施しても I C T活用工事とする。 2) 施工履歴データを用いた出来形管理</p> <p>⑤納品 ①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>2 I C T河川浚渫工の実施にあたり、施工プロセス（①～⑤）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定する。 なお、プロセスの選択は、「③ I C T建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>3総合評価落札方式（施工計画評価型・施工能力評価型）において、加点対象となるのは、第2条に示す全ての施工プロセス（①～⑤）において I C Tを活用する場合に限る。</p> <p>(対象とする工事)</p> <p>第3条 I C T河川浚渫工は、下記工種を含む全ての発注工事を対象とする。ただし、I C T活用工事（I C T河川浚渫工）【発注者指定型】の対象とする工事は除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 浚渫工（バックホウ浚渫船） <ul style="list-style-type: none"> ・浚渫船運転工 2 従来施工において、土木工事施工管理基準（出来形管理基準及び規格値）を適用しない工事 |

土木部発注工事におけるICT活用工事（ICT河川浚渫工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | |
|--|---------------------------------------|-------------------------------|----|---------------------------------------|-----------------------------------|---|
| <p>は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査)</p> <p>第4条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注)</p> <p>第5条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</p> <p>2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告にICT河川浚渫工であることを明示するとともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。</p> <p>(ICT活用工事の実施手続)</p> <p>第6条 ICT河川浚渫工の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（ICT活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、ICT河川浚渫工を実施することができる。</p> <p>2 ICT河川浚渫工として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができる。</p> <p>(設計変更)</p> <p>第7条 発注者は、ICT河川浚渫工の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成、ICT施工および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>(工事成績)</p> <p>第8条 ICT河川浚渫工を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。</p> <p>なお、施工プロセスを選択し部分的に従来手法で実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p style="text-align: center;">(追加) (追加)</p> <p>(監督・検査)</p> <p>第9条 ICT河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表1「ICT河川浚渫工に関する基準」により行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1 ICT河川浚渫工に関する基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">土 施</td> <td style="width: 10%;">① 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">检査</td> <td>② 音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</td> </tr> <tr> <td>③ 施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工）</td> </tr> </table> | 土 施 | ① 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編 | 检査 | ② 音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案） | ③ 施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工） | <p>は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査)</p> <p>第4条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注)</p> <p>第5条 発注に当たっての積算基準は、従来の積算基準を用いるものとする。</p> <p>2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告にICT河川浚渫工であることを明示するとともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。</p> <p>(ICT活用工事の実施手続)</p> <p>第6条 ICT河川浚渫工の実施にあたっては、契約書に付された特記仕様書に基づき、受注者が希望した場合、受注者は協議書（ICT活用工事計画書）を発注者へ提出し、発注者が協議内容に同意し施工を指示することにより、ICT河川浚渫工を実施することができる。</p> <p>2 ICT河川浚渫工として発注していない工事においても受注者から希望があった場合、発注者は施工量や工期、予算等を考慮の上、受注者希望型と同様の取り扱いとすることができる。</p> <p>(設計変更)</p> <p>第7条 発注者は、ICT河川浚渫工の実施を指示した場合、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成、ICT施工および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。</p> <p>(工事成績)</p> <p>第8条 ICT河川浚渫工を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。</p> <p>なお、施工プロセスを選択し部分的に従来手法で実施した場合は1点を加点するものとする。</p> <p>(アンケート調査)</p> <p>第9条 受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> <p>(監督・検査)</p> <p>第9条 ICT河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査については、以下の国土交通省が定める関連要領等の令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。</p> <p style="text-align: right;">(削除)</p> |
| 土 施 | ① 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編 | | | | | |
| 检査 | ② 音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案） | | | | | |
| | ③ 施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工） | | | | | |

土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）の試行要領【受注者希望型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|--|---|
| <p>事編)——(案)</p> <p>(追加)</p> <p>附 則 この要領は、令和元年9月1日から施行する。 令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用） 令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用） 令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用） 令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用）</p> | <p>※関連要領等（要領関係等（ICTの全面的な活用）国土交通省HPより） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</p> <p>附 則 この要領は、令和元年9月1日から施行する。 令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用） 令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用） 令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用） 令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用） 令和7年9月30日改定（令和7年10月1日適用）</p> |

土木部発注工事におけるICT活用工事（ICT河川浚渫工）の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事（ICT河川浚渫工）の試行要領 【発注者指定型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事（ICT河川浚渫工）【発注者指定型】」（以下、「ICT河川浚渫工」という。）を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT河川浚渫工とは、以下に示す全ての施工プロセス（①～⑥）においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3次元起工測量 <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 音響測深機器による起工測量 2) <u>その他の3次元計測技術</u>による起工測量（※） <p>（※）<u>従来の断面管理においてTSを用いて測定し、計測点同士をTINで結合する方法で断面間を3次元的に補完することを含む。</u></p> ② 3次元設計データ作成 <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> ③ ICT建設機械による施工 <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1)～2) に示す<u>技術（ICT建設機械）</u>により施工を実施する。</p> <p>(追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術 2) 3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術 ④ | <p style="text-align: center;">土木部発注工事におけるICT活用工事（ICT河川浚渫工）の試行要領 【発注者指定型】</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、土木部が発注する工事において、「ICT活用工事（ICT河川浚渫工）【発注者指定型】」（以下、「ICT河川浚渫工」という。）を試行するために、必要な事項を定めたものである。</p> <p>(ICT活用工事)</p> <p>第2条 ICT河川浚渫工とは、以下に示す全ての施工プロセス（①～⑤）においてICTを活用する工事とする。</p> <p>【施工プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3次元起工測量 <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 音響測深機器による起工測量 2) レッド測深等従来手法による起工測量（※） <p>（※）上記2) による起工測量を実施した場合は、計測点同士を結合し、TINデータの作成ができるように測量データを取得するものとする。</p> ② 3次元設計データ作成 <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。なお、発注者が貸与する3次元データを活用する場合も、ICT活用工事とする。</p> ③ ICT建設機械による施工 <p>②で作成した3次元設計データを用い、以下1) に示すICT建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和7年3月31日 国土交通省告示第240号）付録1測量機器検定基準2－6の性能における検定基準を満たすこと。</p> ④ 3次元MCまたは3次元MG建設機械 ※MC：「マシンコントロール」の略称、MG：「マシンガイダンス」の略称 <p>(削除)</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に</p> |

土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|---|--|
| <p>3次元出来形管理<u>資料等の作成</u> <u>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</u> <u><</u> <u>出来形管理></u> <u>下記1)～3)のいづれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</u> <u>1) 音響測深機器による出来形管理技術</u> <u>2) 施工履歴データによる出来形管理技術</u> <u>3) その他の3次元計測技術による出来形管理技術</u> <u>⑤出来形確認及び検査</u> <u>現地で出来形計測を行い、3次元設計データの設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</u> <u>⑥</u> <u>(追加)</u> <u>(追加)</u> <u>納品</u> <u>①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</u> </p> <p>(対象とする工事) 第3条 I C T 河川浚渫工の試行対象工事は、設計額 5,000 万円以上かつ、下記工種による浚渫土量 2,000m³ 以上の全ての発注工事を対象とする。 1) 浚渫工 (バックホウ浚渫船) ・ 浚渫船運転工 2 従来施工において、土木工事施工管理基準 (出来形管理基準及び規格値) を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査) 第4条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注) 第5条 発注に当たっての積算基準は、別途定める「土木工事標準積算基準書」により、I C T 施工にかかる経費を計上する。 2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告に I C T 河川浚渫工であることを明示すると</p> | <p>に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、建設機械の作業装置を誘導する3次元マシンガイダンス技術を用いて、河川浚渫を実施する。但し、現場条件により、③ I C T 建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとする。</p> <p>④ 3次元出来形管理等の施工管理 <u>(削除)</u> <u>③による工事の施工管理において、以下の出来形管理を実施する。</u> <u>(1) 出来形管理</u> <u>出来形管理</u> <u>にあたっては、出来形管理</u> <u>図表(ヒートマップ)を作成し、出来形の良否を判定する管理</u> <u>手法(面管理)とし、以下1)にて実施するものとする。なお、面管理とは出来形管理</u> <u>(削除)</u> <u>の計測範囲において、1m間隔以下(1点/m²以上)の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</u> <u>1) 音響測深機器を用いた出来形管理</u> <u>なお、以下2)の方法で実施しても I C T 活用工事とする。</u> <u>2) 施工履歴データを用いた出来形管</u> <u>⑤ 納品</u> <u>①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</u></p> <p>(対象とする工事) 第3条 I C T 河川浚渫工の試行対象工事は、設計額 5,000 万円以上かつ、下記工種による浚渫土量 2,000m³ 以上の全ての発注工事を対象とする。 1) 浚渫工 (バックホウ浚渫船) ・ 浚渫船運転工 2 従来施工において、土木工事施工管理基準 (出来形管理基準及び規格値) を適用しない工事は適用対象外とする。</p> <p>(試行対象工事の調査) 第4条 技術企画課は、必要に応じて発注状況等の調査を行い、調査結果をとりまとめることとする。</p> <p>(発注) 第5条 発注に当たっての積算基準は、別途定める「土木工事標準積算基準書」により、I C T 施工にかかる経費を計上する。 2 発注機関は、試行工事の発注に当たり、入札公告に I C T 河川浚渫工であることを明示すると</p> |

土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|--|--|
| ともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。 | ともに、特記仕様書を添付し発注手続きを行うこととする。 |
| (設計変更) 第6条 発注者は、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。 | (設計変更) 第6条 発注者は、別途定める「土木工事標準積算基準書」に基づき、3次元起工測量・3次元設計データ作成および3次元出来形管理にかかる経費を設計変更により計上する。 |
| (工事成績) 第7条 I C T 河川浚渫工を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。 | (工事成績) 第7条 I C T 河川浚渫工を第2条に示す全ての施工プロセスで実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で2点を加点するものとする。 |
| (追加) | (アンケート調査) |
| 第8条 | 第8条 受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。 |
| (監督・検査) 第9条 I C T 河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査は、 <u>国土交通省が定めた表1「I C T 河川浚渫工に関する基準」により行う</u> ものとする。 | (監督・検査) 第9条 I C T 河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査については、 <u>以下の国土交通省が定める関連要領等の令和7年10月1日時点のものを適用する</u> ものとする。 |
| (削除) | (削除) |
| (追加) | ※関連要領等（要領関係等（ICT の全面的な活用）国土交通省 HP より） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html |
| 附 則 この要領は、平成30年8月1日から施行する。 令和元年8月22日改定（令和元年9月1日適用） 令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用） 令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用） 令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用） 令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用） | 附 則 この要領は、平成30年8月1日から施行する。 令和元年8月22日改定（令和元年9月1日適用） 令和2年6月22日改定（令和2年7月1日適用） 令和3年6月28日改定（令和3年7月1日適用） 令和4年9月15日改定（令和4年10月1日適用） 令和5年9月26日改定（令和5年10月1日適用） |

土木部発注工事における I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）の試行要領【発注者指定型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|-----|--------------------------------------|
| | 令和 7 年 9 月 30 日改定（令和 7 年 10 月 1 日適用） |

I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）」（以下、「I C T 河川浚渫工」という）である。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進</p> <p>1-1 I C T 河川浚渫工とは、以下に示す施工プロセス（①～④）において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。<u>なお、その際は監督職員と協議すること。</u></p> <p>1) 音響測深機器による起工測量</p> <p>2) <u>その他の3次元計測技術</u>による起工測量（※）</p> <p><u>（※）従来の断面管理においてT Sを用いて測定し、計測点同士をT I Nで結合する方法で断面間を3次元的に補完することを含む。</u></p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p><u>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1)～2)に示す技術（I C T 建設機械）により施工を実施する。</u></p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <p>1) 3次元マシンコントロール（<u>バックホウ</u>）技術</p> <p>2) <u>3次元マシンガイダンス（<u>バックホウ</u>）技術</u></p> <p>④</p> | <p style="text-align: center;">I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【受注者希望型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、受注者発議による提案・協議により、3次元データを活用する「I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）」（以下、「I C T 河川浚渫工」という）である。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進</p> <p>1-1 I C T 河川浚渫工とは、以下に示す施工プロセス（①～⑤）において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 音響測深機器による起工測量</p> <p>2) <u>レッド測深等従来手法</u>による起工測量（※）</p> <p><u>（※）上記2) による起工測量を実施した場合は、計測点同士を結合し、T I Nデータの作成ができるように測量データを取得するものとする。</u></p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p><u>なお、発注者が貸与する3次元データを活用する場合も、I C T 活用工事とする。③</u></p> <p>I C T 建設機械による施工</p> <p><u>②で作成した3次元設計データを用い、以下1) に示すI C T 建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</u></p> <p><u>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和7年3月31日 国土交通省告示第240号）付録1測量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。</u></p> <p>1) 3次元MCまたは3次元MG建設機械 ※MC：「マシンコントロール」の略称、MG：「マシンガイダンス」の略称</p> <p style="text-align: center;">(削除)</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、</p> |

I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|---|---|
| <p>3次元出来形管理<u>資料等の作成</u> ③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。 <u><出来形管理></u> <u>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</u> 1) 音響測深機器による出来形管理技術（河川浚渫工） 2) 施工履歴データによる出来形管理技術（河川浚渫工） 3) その他の3次元計測技術による出来形管理技術（河川浚渫工） <u>⑤出来形確認及び検査</u> 現地で出来形計測を行い、3次元設計データの<u>設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</u></p> <p style="text-align: center;">⑥ (追加) (追加)</p> <p>納品 ①～⑤にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 受注者はI C T河川浚渫工を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までにI C T活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、I C T河川浚渫工を行うことができる。</p> <p>1－3 1－1 施工プロセスに示す①～⑥について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。 なお、受注者は施工プロセス（①～⑥）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、「③I C T建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>1－4 施工を実施するために使用するI C T機器類は、受注者が調達するものとする。</p> <p>1－5 施工に必要なI C T河川浚渫工用のデータは受注者が作成するものとする。</p> <p>1－6 I C T河川浚渫工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</p> | <p>建設機械の作業装置を誘導する3次元マシンガイダンス技術を用いて、河川浚渫を実施する。但し、現場条件により、③I C T建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとする。</p> <p>④3次元出来形管理等の施工管理 ③による工事の施工管理において、以下の出来形管理を実施する。 (1) 出来形管理 出来形管理にあたっては、出来形管理図表（ヒートマップ）を作成し、出来形の良否を判定する管理手法（面管理）とし、以下1)にて実施するものとする。</p> <p>なお、面管理とは出来形管理 (削除) の計測範囲において、1m間隔以下（1点/m²以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>1) 音響測深機器を用いた出来形管理 なお、以下2)の方法で実施してもI C T活用工事とする。 2) 施工履歴データを用いた出来形管理</p> <p>⑤納品 ①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> <p>1－2 受注者はI C T河川浚渫工を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出までにI C T活用工事計画書により、発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、I C T河川浚渫工を行うことができる。</p> <p>1－3 1－1 施工プロセスに示す①～⑤について、測量や施工の実施手段及び対象範囲を監督員と協議するものとする。 なお、受注者は施工プロセス（①～⑤）のうち生産性向上が見込めるプロセスを選択して実施することができる。施工プロセスの選択にあたっては、協議書の提出時に発注者に提案することとし、受発注者間の協議により決定すること。プロセスの選択は、「③I C T建設機械による施工」のみを選択する場合を除き、原則複数のプロセスを選択するものとする。</p> <p>1－4 施工を実施するために使用するI C T機器類は、受注者が調達するものとする。</p> <p>1－5 施工に必要なI C T河川浚渫工用のデータは受注者が作成するものとする。</p> <p>1－6 I C T河川浚渫工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</p> |

I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【受注者希望型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | |
|--|---|--------------------------------------|----|--|---|--|
| <p>1－7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－8 I C T 河川浚渫工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p> | <p>1－7 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－8 I C T 河川浚渫工を実施した場合は、工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p> | | | | | |
| 第2 監督・検査について <p>I C T 河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査は、<u>国土交通省が定めた表1「I C T 河川浚渫工に関する基準」により行う</u>ものとする。</p> <p style="text-align: center;"><u>表1 I C T 河川浚渫工に関する基準</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">土 施</td> <td style="width: 15%;">① <u>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="width: 5%; vertical-align: middle; text-align: center;">検査</td> <td style="width: 15%;">② <u>音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</u></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">③ <u>施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</u></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> | 土 施 | ① <u>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編</u> | 検査 | ② <u>音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</u> | ③ <u>施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</u> | 第2 監督・検査について <p>I C T 河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査の<u>関連要領等</u>については、<u>令和7年10月1日時点のものを適用する</u>ものとする。</p> <p style="text-align: right;">(削除)</p> |
| 土 施 | ① <u>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編</u> | | | | | |
| 検査 | ② <u>音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</u> | | | | | |
| | ③ <u>施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</u> | | | | | |
| 第3 納品について <p>国土交通省が定めた「<u>I C T 河川浚渫工に関する基準</u>」において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針（案）」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</p> <p>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p> | <p>※関連要領等（要領関係等（ICT の全面的な活用）国土交通省 HP より） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</p> <p>第3 納品について <p>国土交通省が定めた基準において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針（案）」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</p> <p>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p> </p> | | | | | |
| 第4 アンケート調査について <p>受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> | <p>第4 アンケート調査について</p> <p>受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> | | | | | |

I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【発注者指定型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、3次元データを活用する「I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）」（以下、「I C T 河川浚渫工」という）である。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進を図るための措置</p> <p>1-1 I C T 河川浚渫工とは、以下に示す全ての施工プロセス（①～⑥）において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。<u>なお、その際は監督職員と協議すること。</u></p> <p>1) 音響測深機器による起工測量</p> <p>2) <u>その他の3次元計測技術</u>による起工測量（※）</p> <p><u>（※）従来の断面管理においてTSを用いて測定し、計測点同士をTINで結合する方法で断面間を3次元的に補完することを含む。</u></p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で得られた3次元設計データまたは施工用に作成した3次元データを用いて、下記1)～2) に示す技術（I C T 建設機械）により施工を実施する。</p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <p>1) 3次元マシンコントロール（バックホウ）技術</p> <p>2) <u>3次元マシンガイダンス（バックホウ）技術</u></p> <p>④</p> | <p style="text-align: center;">I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【発注者指定型】</p> <p>本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、I C T の全面的活用を図るため、3次元データを活用する「I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）」（以下、「I C T 河川浚渫工」という）である。</p> <p>第1 I C T 活用工事の推進を図るための措置</p> <p>1-1 I C T 河川浚渫工とは、以下に示す全ての施工プロセス（①～⑤）において I C T を活用する工事である。</p> <p>【施工プロセス】</p> <p>① 3次元起工測量</p> <p>起工測量において、下記1)～2) の方法により 3次元測量データを取得するために測量を行うものとする。</p> <p>起工測量にあたっては、標準的に面計測を実施するものとするが、前工事での3次元納品データが活用できる場合等においては、管理断面及び変化点の計測による測量を選択してもよい。</p> <p>1) 音響測深機器による起工測量</p> <p>2) レッド測深等従来手法による起工測量（※）</p> <p><u>（※）上記2) による起工測量を実施した場合は、計測点同士を結合し、TINデータの作成ができるように測量データを取得するものとする。</u></p> <p>② 3次元設計データ作成</p> <p>発注図書や①で得られたデータを用いて、3次元出来形管理を行うための3次元設計データを作成する。なお、発注者が貸与する3次元データを活用する場合も、I C T 活用工事とする。</p> <p>③ I C T 建設機械による施工</p> <p>②で作成した3次元設計データを用い、以下1) に示す I C T 建設機械により施工を実施する。位置・標高をリアルタイムに取得するに当たっては、国土地理院の電子基準点のほか、国土地理院に登録された民間等電子基準点を活用することができる。</p> <p>なお、位置情報サービス事業者が提供する位置情報サービスの利用においては、当該サービスが国家座標に準拠し、かつ、作業規程の準則（令和7年3月31日 国土交通省告示第240号）付録1 测量機器検定基準2-6の性能における検定基準を満たすこと。</p> <p>1) 3次元MCまたは3次元MG建設機械 ※MC：「マシンコントロール」の略称、MG：「マシンガイダンス」の略称</p> <p style="text-align: center;">(削除)</p> <p>建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分に基づき建設機械の作業装置を自動制御する3次元マシンコントロール技術または、建設機械の作業装置の位置・標高をリアルタイムに取得し、施工用データとの差分を表示し、</p> |

I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|--|---|
| <p>3次元出来形管理<u>資料等の作成</u> <u>③により施工された工事完成物について、I C Tを活用して施工管理を実施する。</u></p> <p><u>＜出来形管理＞</u> <u>下記1)～2)のいずれかの技術を用いた出来形管理を行うものとする。</u></p> <p>1) 音響測深機器による出来形管理技術（河川浚渫工） 2) 施工履歴データによる出来形管理技術（河川浚渫工） 3) その他の3次元計測技術による出来形管理技術（河川浚渫工）</p> <p>⑤出来形確認及び検査 現地で出来形計測を行い、3次元設計データの<u>設計値と実測値との標高差等が規格値内であるかを検査する。</u></p> <p>⑥ (追加) (追加)</p> | <p>建設機械の作業装置を誘導する3次元マシンガイダンス技術を用いて、河川浚渫を実施する。但し、現場条件により、③I C T建設機械による施工が困難又は非効率となる場合は監督職員との協議の上、従来型建設機械による施工を実施してよいものとする。</p> <p>④3次元出来形管理等の施工管理 ③による工事の施工管理において、以下の出来形管理を実施する。 (1) 出来形管理 出来形管理にあたっては、出来形管理図表（ヒートマップ）を作成し、出来形の良否を判定する管理手法（面管理）とし、以下1)にて実施するものとする。</p> <p>なお、面管理とは出来形管理 (削除) の計測範囲において、1m間隔以下（1点/m²以上）の点密度が確保できる出来形計測を行い、3次元設計データと計測した各ポイントとの離れを算出し、出来形の良否を面的に判定する管理手法のことをいう。</p> <p>1) 音響測深機器を用いた出来形管理 なお、以下2)の方法で実施してもI C T活用工事とする。 2) 施工履歴データを用いた出来形管理</p> <p>⑤納品 ①～④にかかる全てのデータを工事完成図書として納品する。</p> |
| <p>1－2 1－1 施工プロセスに示す①～④において、測量や施工の実施手段及び対象範囲を平面図等により監督員と協議するものとする。</p> <p>1－3 施工を実施するために使用するI C T機器類は、受注者が調達するものとする。</p> <p>1－4 施工に必要なI C T河川浚渫工用のデータは受注者が作成するものとする。</p> <p>1－5 I C T河川浚渫工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</p> <p>1－6 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－7 工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p> | <p>1－2 1－1 施工プロセスに示す①～④において、測量や施工の実施手段及び対象範囲を平面図等により監督員と協議するものとする。</p> <p>1－3 施工を実施するために使用するI C T機器類は、受注者が調達するものとする。</p> <p>1－4 施工に必要なI C T河川浚渫工用のデータは受注者が作成するものとする。</p> <p>1－5 I C T河川浚渫工に伴う経費については、監督員と協議の上、設計変更の対象とする。</p> <p>1－6 受注者は自らの責任のもと、監督員が貸与する設計図書をもとに3次元設計データを作成のうえ照査するものとする。なお、3次元設計データは、施工や出来形の良否に影響するため、受注者は「3次元設計データチェックシート」を活用し、3次元設計データと設計図書を照合し、入力ミス等がないか照査するものとする。</p> <p>1－7 工事成績の「創意工夫」項目で加点評価する。</p> |
| 第2 監督・検査について | 第2 監督・検査について |

I C T 活用工事（I C T 河川浚渫工）に関する特記仕様書【発注者指定型】 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | |
|---|--|--------------------------------------|-----------------------------|-----|---|-------------------------------------|---|--------------------------------------|--|
| <p>I C T 河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査は、国土交通省が定めた表1「I C T 河川浚渫工に関する基準」により行うものとする。</p> <p style="text-align: center;">表1 I C T 河川浚渫工に関する基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">土 施</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td>3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">檢 查</td> <td>2</td> <td>音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案）</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(追加)</p> <p style="text-align: center;">(追加)</p> | 土 施 | 1 | 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編 | 檢 查 | 2 | 音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案） | 3 | 施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案） | <p>I C T 河川浚渫工を実施した場合の対象工種の監督・検査の関連要領等については、令和7年10月1日時点のものを適用するものとする。</p> <p style="text-align: right;">(削除)</p> |
| 土 施 | 1 | 3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）河川浚渫工編 | | | | | | | |
| 檢 查 | 2 | 音響測深機器を用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案） | | | | | | | |
| | 3 | 施工履歴データを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川浚渫工事編）（案） | | | | | | | |
| <p>第3 納品について</p> <p>国土交通省が定めた「I C T 河川浚渫工に関する基準」において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針（案）」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</p> <p>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p> | <p>※関連要領等（要領関係等（ICT の全面的な活用）国土交通省 HP より） https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html</p> <p>第3 納品について</p> <p>国土交通省が定めた基準において、「ICON」フォルダに格納されることとなっている電子成果品については、「工事完成図書の電子納品に関する運用指針（案）」で示す、「ICON」フォルダに格納することとする。</p> <p>なお、格納するデータについては、圧縮ファイルに変換することとする。</p> | | | | | | | | |
| <p>第4 アンケート調査について</p> <p>受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> | <p>第4 アンケート調査について</p> <p>受注者は、監督員が別途指示するアンケート調査に協力するものとする。</p> | | | | | | | | |
| <p>第5 現場見学会の実施について</p> <p>I C T 活用工事の推進を目的として、現場見学会を実施する場合、受注者は見学会の開催に協力するものとする。</p> | <p>第5 現場見学会の実施について</p> <p>I C T 活用工事の推進を目的として、現場見学会を実施する場合、受注者は見学会の開催に協力するものとする。</p> | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | | | | 改 定 | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|
| | | | | 平成〇年〇月〇日 工 事 名 : ○○○○○○工事 受注会社名 : ○○○建設(株) | | | |
| I C T 活用工事計画書 | | | | | | | |
| <p>当該工事において活用する技術について、「採用する技術番号」欄に該当建設生産プロセスの作業内容ごとに採用する技術番号を記載する。また、建設生産プロセスの各段階において、現場条件により I C T による施工が適当でない箇所を除く施工範囲の全てで活用する場合は、左端のチェック欄に「<input checked="" type="checkbox"/>」と記入する。</p> | | | | | | | |
| 建設生産プロセスの段階 | | 作業内容 | | 採用する技術番号 | | 技術番号・技術名 | |
| <input type="checkbox"/> ①3次元起工測量 | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> | | 1 空中写真測量(無人航空機)による起工測量 2 地上型レーザースキャナーによる起工測量 3 その他の3次元計測技術による起工測量 | |
| <input type="checkbox"/> ②3次元設計用データ作成 | | <input checked="" type="checkbox"/> | | <input checked="" type="checkbox"/> | | ※3次元出来形管理に用いる3次元設計データの作成であり、I C T建設機械のみ用いる3次元設計データは含まない。 | |
| <input type="checkbox"/> ③I C T建設機械による施工 ※当該工事に含まれる右記作業の全てで活用する場合に「 <input checked="" type="checkbox"/> 」と記入 | | <input type="checkbox"/> 挖削工 <input type="checkbox"/> 盛土工 <input type="checkbox"/> 路床盛土工 <input type="checkbox"/> 法面整形工 <input type="checkbox"/> 作業土工(床盤) <input type="checkbox"/> 路床安定処理工 <input type="checkbox"/> 表層安定処理工 <input type="checkbox"/> 固結工 <input type="checkbox"/> 路盤工 <input type="checkbox"/> 切削オペレータ工 | | <input type="checkbox"/> | | 1 3次元マシンコントロール(ブルドーザ)技術 2 3次元マシンコントロール(バックホウ)技術 3 3次元マシングайданс(ブルドーザ)技術 4 3次元マシングайданс(バックホウ)技術 5 3次元マシンコントロール(モーターグレーダ)技術 6 3次元位置を用いた施工管理システム | |
| <input type="checkbox"/> ④3次元出来形管理資料の作成 ※同上 | | <input type="checkbox"/> 出来形 <input type="checkbox"/> 品質 | | <input checked="" type="checkbox"/> | | 1 空中写真測量(無人航空機)による出来形管理技術 2 地上型レーザースキャナーによる出来形管理技術 3 その他の3次元計測技術による出来形管理技術 TS・GNSSによる締め固め回数管理技術 | |
| <input type="checkbox"/> ⑤納品 | | | | | | | |
| <p>注 1) I C T 活用工事の詳細については、特記仕様書によるものとする。</p> | | | | | | | |
| <div style="border: 2px solid red; width: fit-content; margin: auto; text-align: center; padding: 5px;">削除</div> | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|----|-----|---|----|---|-----|---|---------|---|-------|---|-------|---|-----|---|------|---|-----------|---|-------|
| | <p style="text-align: right;">(令和7年10月～)</p> <p style="text-align: center;">ICT活用工事 協議書 一覧表</p> <p style="text-align: center;">各工種をクリックすると、該当するシートに説明があります</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><thead><tr><th style="text-align: left; padding: 2px;">番号</th><th style="text-align: left; padding: 2px;">工 種</th></tr></thead><tbody><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">1</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">土工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">2</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">舗装工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">3</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">舗装工(修理)</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">4</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">河川浚渫工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">5</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">地盤改良工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">6</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">防護工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">7</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">構造物工</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">8</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">作業土工(床面工)</td></tr><tr><td style="text-align: center; padding: 2px;">9</td><td style="text-align: center; padding: 2px;">付帯施設工</td></tr></tbody></table> | 番号 | 工 種 | 1 | 土工 | 2 | 舗装工 | 3 | 舗装工(修理) | 4 | 河川浚渫工 | 5 | 地盤改良工 | 6 | 防護工 | 7 | 構造物工 | 8 | 作業土工(床面工) | 9 | 付帯施設工 |
| 番号 | 工 種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 土工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 舗装工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 舗装工(修理) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 河川浚渫工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 地盤改良工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 防護工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 構造物工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 作業土工(床面工) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 付帯施設工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

ICT活用工事計画書 新旧対照表

ICT活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | |
|---------|--|---------|---------|---------|---|---------|---|---------|---|---------|---|
| | <p style="text-align: right;">(合計頁数: 10)</p> <p style="text-align: center;">ICT活用工事 協議書(簡装工) (工事名: ICT活用工事)</p> <p style="text-align: right;">(本件は、ICT活用工事)</p> <p>当該工事記録にて協議する複数回について、積算するための手順を示すものである。本件内に記載する手順について、各工事の特徴により、手順を変更する場合は、別途記載する。</p> <p>本件は、協議する内容が複数回あります。算定値は、上記記載の手順の順番でない場合や、施工範囲が複数ある場合は、各工事の手順に記入する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">施工工程の分類</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">施工内容の摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 1. 施工準備 </td> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 1. 施工準備の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工場所の確認 2. 施工機材の搬入 3. 施工機材の設置 4. 施工機材の点検 5. 施工機材の運搬 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 2. 施工実行 </td> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 2. 施工実行の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工機材の起動 2. 施工機材の操作 3. 施工機材の停止 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 3. 施工終了 </td> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 3. 施工終了の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工機材の撤去 2. 施工機材の搬出 3. 施工機材の保管 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 4. 施工監査 </td> <td style="padding: 10px; vertical-align: top;"> 4. 施工監査の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工監査の実施 2. 施工監査の結果 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(本件は、ICT活用工事)</p> | 施工工程の分類 | 施工内容の摘要 | 1. 施工準備 | 1. 施工準備の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工場所の確認 2. 施工機材の搬入 3. 施工機材の設置 4. 施工機材の点検 5. 施工機材の運搬 | 2. 施工実行 | 2. 施工実行の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工機材の起動 2. 施工機材の操作 3. 施工機材の停止 | 3. 施工終了 | 3. 施工終了の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工機材の撤去 2. 施工機材の搬出 3. 施工機材の保管 | 4. 施工監査 | 4. 施工監査の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工監査の実施 2. 施工監査の結果 |
| 施工工程の分類 | 施工内容の摘要 | | | | | | | | | | |
| 1. 施工準備 | 1. 施工準備の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工場所の確認 2. 施工機材の搬入 3. 施工機材の設置 4. 施工機材の点検 5. 施工機材の運搬 | | | | | | | | | | |
| 2. 施工実行 | 2. 施工実行の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工機材の起動 2. 施工機材の操作 3. 施工機材の停止 | | | | | | | | | | |
| 3. 施工終了 | 3. 施工終了の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工機材の撤去 2. 施工機材の搬出 3. 施工機材の保管 | | | | | | | | | | |
| 4. 施工監査 | 4. 施工監査の手順 <ul style="list-style-type: none"> 1. 施工監査の実施 2. 施工監査の結果 | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|---------|--------|---------|--|---------|--|---------|---|---------|--|---------|--|
| | <p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">(平成25年9月~)</p> <p style="text-align: center;">ICT活用工事 請議書(簡装工) (工事名:XXXX工事)</p> <p style="text-align: center;">会社名:XXXX会社様</p> <p>当社は本請契約で請用する機器等について、利用する技術の発達や品質の向上等の理由により、改訂させていただきます。改訂箇所は、下記に記載します。</p> <p>また、もくじ面積等の仕事内容について、算出方法とは別に、ある場合は施工場所での面積を換算して算出する場合は、在庫の面積に該用する面積です。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">施工方法・機器</th> <th style="width: 70%;">適用する面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">A 施工方法A</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工機器一式をすべて使用した施工面積 □ 施工機器を複数台一括で使用した施工面積 △ 施工機器を複数台別々に使用した施工面積 △ 施工機器の種類によって施工面積を算出する場合 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">B 施工方法B</td> <td>施工機器の面積から施工面積を引いた面積を算出し、それを積算した施工面積を算出する場合</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">C 施工方法C</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 □ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 △ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 □ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 △ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">D 施工方法D</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 □ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 △ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 □ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f2f2f2;">E 施工方法E</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(注) 本請契約下の各施工方法は、施工場所によって異なる場合があります。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">(印) 会社名:XXXX会社様</p> | 施工方法・機器 | 適用する面積 | A 施工方法A | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工機器一式をすべて使用した施工面積 □ 施工機器を複数台一括で使用した施工面積 △ 施工機器を複数台別々に使用した施工面積 △ 施工機器の種類によって施工面積を算出する場合 | B 施工方法B | 施工機器の面積から施工面積を引いた面積を算出し、それを積算した施工面積を算出する場合 | C 施工方法C | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 □ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 △ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 □ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 △ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 | D 施工方法D | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 □ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 △ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 □ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 | E 施工方法E | |
| 施工方法・機器 | 適用する面積 | | | | | | | | | | | | |
| A 施工方法A | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工機器一式をすべて使用した施工面積 □ 施工機器を複数台一括で使用した施工面積 △ 施工機器を複数台別々に使用した施工面積 △ 施工機器の種類によって施工面積を算出する場合 | | | | | | | | | | | | |
| B 施工方法B | 施工機器の面積から施工面積を引いた面積を算出し、それを積算した施工面積を算出する場合 | | | | | | | | | | | | |
| C 施工方法C | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 □ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 △ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 □ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 △ 施工元にシカゲドリの施工実績による面積 | | | | | | | | | | | | |
| D 施工方法D | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 □ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 △ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 □ 施工機器の面積を算出し、それを積算した施工面積 | | | | | | | | | | | | |
| E 施工方法E | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | |
|--|------------------|-----|------------|------------|------------|------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------|--------|
| <p style="text-align: right;">(年月日～)</p> <p style="text-align: center;">I C T活用工事 協議書(地盤改良工)</p> <p style="text-align: center;">(会員名:○○○○株式会社) 会社名:○○○○株式会社</p> <p>本上記における協議内容を以下に、「現行する技術手順」にて「協議生産プロセスの作業内容ごとに適用技術・技術について」記載と併せて示す。協議条件は現行に於ける者が適用できない場合と認めて本規約にて改正する場合、本規約のテクニカル条件に記入する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現 行</td><td style="width: 85%;">改 定</td></tr> <tr> <td>□ CT技術実施手順</td><td>■ CT技術実施手順</td></tr> <tr> <td>□ CT機器搬入手順</td><td>■ CT機器搬入手順</td></tr> <tr> <td>□ I C T建設機械の点検手順</td><td>■ I C T建設機械の点検手順</td></tr> <tr> <td>□ I C T施工機器の整備手順</td><td>■ I C T施工機器の整備手順</td></tr> <tr> <td>□ 施工手順</td><td>■ 施工手順</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">(会員名:○○○○株式会社) 会社名:○○○○株式会社</p> <p>本上記における協議内容を以下に、「現行する技術手順」にて「協議生産プロセスの作業内容ごとに適用技術・技術について」記載と併せて示す。協議条件は現行に於ける者が適用できない場合と認めて本規約にて改正する場合、本規約のテクニカル条件に記入する。</p> | 現 行 | 改 定 | □ CT技術実施手順 | ■ CT技術実施手順 | □ CT機器搬入手順 | ■ CT機器搬入手順 | □ I C T建設機械の点検手順 | ■ I C T建設機械の点検手順 | □ I C T施工機器の整備手順 | ■ I C T施工機器の整備手順 | □ 施工手順 | ■ 施工手順 |
| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | |
| □ CT技術実施手順 | ■ CT技術実施手順 | | | | | | | | | | | |
| □ CT機器搬入手順 | ■ CT機器搬入手順 | | | | | | | | | | | |
| □ I C T建設機械の点検手順 | ■ I C T建設機械の点検手順 | | | | | | | | | | | |
| □ I C T施工機器の整備手順 | ■ I C T施工機器の整備手順 | | | | | | | | | | | |
| □ 施工手順 | ■ 施工手順 | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------|-----------|---|----------------|-----------------------------------|----------------|--|------------------|---------------------------------------|-------|--|
| <p style="text-align: right;">(平成29年1月～)</p> <p style="text-align: center;">I C T活用工事 協議書(地盤改良工)</p> <p style="text-align: center;">(会員名:○○○○株式会社) 会社名:○○○○株式会社</p> <p>本工事は、(以下「本工事」といいます)、「横浜市立横浜港南中学校」の校舎地盤改良工事に付随する作業内容ごとに適用される協定書として、本契約にて締結されたものであります。本契約は、本契約の各条項において、本契約には明示的に記載されない限り本契約各項の全てが適用され、本契約のテキストを構成する列車と並んで、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">契約者情報</td> <td style="width: 70%;">契約外情報</td> </tr> <tr> <td>□ Q3実施担当者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工管理者は「個人成績評定」を行った者と規定 ■ 施工者は、アースカット等の仕事は会員 ■ 会員は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は、GNSSを用いた測量、測定 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 </td> </tr> <tr> <td>□ Q3次の段階未マーク付人</td> <td>監査官は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官</td> </tr> <tr> <td>□ Q3ICT建設施工担当者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 </td> </tr> <tr> <td>□ Q3GNC監査官監査課担当者</td> <td>監査官は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官の監査官</td> </tr> <tr> <td>□ 分割者</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(平成29年1月～)</p> | 契約者情報 | 契約外情報 | □ Q3実施担当者 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工管理者は「個人成績評定」を行った者と規定 ■ 施工者は、アースカット等の仕事は会員 ■ 会員は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は、GNSSを用いた測量、測定 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 | □ Q3次の段階未マーク付人 | 監査官は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 | □ Q3ICT建設施工担当者 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 | □ Q3GNC監査官監査課担当者 | 監査官は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官の監査官 | □ 分割者 | |
| 契約者情報 | 契約外情報 | | | | | | | | | | | |
| □ Q3実施担当者 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工管理者は「個人成績評定」を行った者と規定 ■ 施工者は、アースカット等の仕事は会員 ■ 会員は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 ■ 施工者は、GNSSを用いた測量、測定 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官、監査員 | | | | | | | | | | | |
| □ Q3次の段階未マーク付人 | 監査官は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 | | | | | | | | | | | |
| □ Q3ICT建設施工担当者 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 ■ 施工者は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官 | | | | | | | | | | | |
| □ Q3GNC監査官監査課担当者 | 監査官は監督官理事、セーフティマネージャー、監査官の監査官の監査官の監査官 | | | | | | | | | | | |
| □ 分割者 | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <p style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">(会員登録用紙)</p> <p style="text-align: center;">I C T 活用工事 協議書(法面工)</p> <p style="text-align: center;">(工事名:OOGO工事)</p> <p style="text-align: center;">会員登録用紙</p> <p style="text-align: center;">お読みになりてお使いください。お読みする次第より、常に遵守してお仕事の作業内容と活用に合意する事項について下記に記載されています。</p> <p style="text-align: center;">また、建設業主との契約において、本協議書はICTによる施工方法でない場合も遵守する旨の合意となることを明記します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td><td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td><td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td></tr> </table> <p style="text-align: center;">(会員登録用紙)</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">(会員登録用紙)</p> <p style="text-align: center;">I C T 活用工事 協議書(法面工)</p> <p style="text-align: center;">(工事名:OOGO工事)</p> <p style="text-align: center;">会員登録用紙</p> <p style="text-align: center;">お読みになりてお使いください。お読みする次第より、常に遵守してお仕事の作業内容と活用に合意する事項について下記に記載されています。</p> <p style="text-align: center;">また、建設業主との契約において、本協議書はICTによる施工方法でない場合も遵守する旨の合意となることを明記します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td><td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td><td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td></tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td><td style="vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> </td></tr> </table> <p style="text-align: center;">(会員登録用紙)</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> |
| <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | | | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> <p style="text-align: center;">新設設備の確認</p> <p style="text-align: center;">既存設備の確認</p> | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 |
|--|--|
| <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> | <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> <p style="text-align: right;">(文書番号) 000000000000</p> <p style="text-align: right;">(文書名) ICT活用工事 協議書(構造物T)</p> <p style="text-align: right;">(文書名) COCOTB</p> <p style="text-align: right;">会社名: COCOTB</p> |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----------|----|--|-----------|----|----|----|-----------|----|----|----|
| <p style="text-align: right;">(平成24年3月~)</p> <p style="text-align: center;">I C T 活用工事 協議書(作業上工(床掘工)) (工事名:XX工事) ○新規工事○</p> <p>本件、(以下「本件」といいます)は、(株)A(以下「当社」といいます)が、(以下「事業者」といいます)の新規工事(以下「本件」といいます)に係るICT活用工事に関する協議書(以下「本件」といいます)を、(以下「取扱会社」といいます)より提出されたものであります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">現行工事の実施箇所</th><th style="text-align: center;">改定工事の実施箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">未定</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - ① 事務機器(個人用PC)を導入して改定工事 - ② モニターテーブル(タッチスクリーン式)を導入した改定工事 - ③ 他人からの監視用モニタースクリーンを導入した改定工事 - ④ 上記①~③の改定工事に伴う、改定工事に係るICT活用工事に関する協議書(以下「本件」といいます)を提出する旨 - ⑤ 事務機器(個人用PC)を導入して改定工事 - ⑥ ②のモニターテーブル(タッチスクリーン式)を導入して改定工事 - ⑦ ③のモニタースクリーンを導入して改定工事 </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">改定工事の実施箇所</td><td style="text-align: center;">未定</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">未定</td><td style="text-align: center;">未定</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">改定工事の実施箇所</td><td style="text-align: center;">未定</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">未定</td><td style="text-align: center;">未定</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(平成24年3月~)</p> | 現行工事の実施箇所 | 改定工事の実施箇所 | 未定 | <ul style="list-style-type: none"> - ① 事務機器(個人用PC)を導入して改定工事 - ② モニターテーブル(タッチスクリーン式)を導入した改定工事 - ③ 他人からの監視用モニタースクリーンを導入した改定工事 - ④ 上記①~③の改定工事に伴う、改定工事に係るICT活用工事に関する協議書(以下「本件」といいます)を提出する旨 - ⑤ 事務機器(個人用PC)を導入して改定工事 - ⑥ ②のモニターテーブル(タッチスクリーン式)を導入して改定工事 - ⑦ ③のモニタースクリーンを導入して改定工事 | 改定工事の実施箇所 | 未定 | 未定 | 未定 | 改定工事の実施箇所 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 現行工事の実施箇所 | 改定工事の実施箇所 | | | | | | | | | | | |
| 未定 | <ul style="list-style-type: none"> - ① 事務機器(個人用PC)を導入して改定工事 - ② モニターテーブル(タッチスクリーン式)を導入した改定工事 - ③ 他人からの監視用モニタースクリーンを導入した改定工事 - ④ 上記①~③の改定工事に伴う、改定工事に係るICT活用工事に関する協議書(以下「本件」といいます)を提出する旨 - ⑤ 事務機器(個人用PC)を導入して改定工事 - ⑥ ②のモニターテーブル(タッチスクリーン式)を導入して改定工事 - ⑦ ③のモニタースクリーンを導入して改定工事 | | | | | | | | | | | |
| 改定工事の実施箇所 | 未定 | | | | | | | | | | | |
| 未定 | 未定 | | | | | | | | | | | |
| 改定工事の実施箇所 | 未定 | | | | | | | | | | | |
| 未定 | 未定 | | | | | | | | | | | |

ICT活用工事計画書 新旧対照表

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|--------|----|--------|---------------|----|--|--|---------|-----|---|--|---------|-----|--|--|-------------|-----|--|--|-------------|-----|---|--|----|
| <p>様式-1①</p> <p>(空中写真測量(無人航空機))</p> <p style="text-align: right;">令和〇年〇月〇日 <u>工 事 名 : ○○○○○○工事</u> <u>受注会社名 : ○○○建設(株)</u></p> <p style="text-align: center;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>対象</th> <th>内容</th> <th>チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 基準点及び工事基準点</td> <td>全点</td> <td>監督員の指示した基準点を使用しているか? 工事基準点の名称は正しいか? 座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 平面線形</td> <td>全延長</td> <td>起終点の座標は正しいか? 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? 曲線要素の種別・数値は正しいか? 各測点の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 縦断線形</td> <td>全延長</td> <td>線形起終点の測点、標高は正しいか? 縦断変化点の測点、標高は正しいか? 曲線要素は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4) 出来形横断面形状</td> <td>全延長</td> <td>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? 基準高、幅、法長は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 3次元設計データ</td> <td>全延長</td> <td>入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | 1) 基準点及び工事基準点 | 全点 | 監督員の指示した基準点を使用しているか? 工事基準点の名称は正しいか? 座標は正しいか? | | 2) 平面線形 | 全延長 | 起終点の座標は正しいか? 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? 曲線要素の種別・数値は正しいか? 各測点の座標は正しいか? | | 3) 縦断線形 | 全延長 | 線形起終点の測点、標高は正しいか? 縦断変化点の測点、標高は正しいか? 曲線要素は正しいか? | | 4) 出来形横断面形状 | 全延長 | 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? 基準高、幅、法長は正しいか? | | 5) 3次元設計データ | 全延長 | 入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか? | | 削除 |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 基準点及び工事基準点 | 全点 | 監督員の指示した基準点を使用しているか? 工事基準点の名称は正しいか? 座標は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 平面線形 | 全延長 | 起終点の座標は正しいか? 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? 曲線要素の種別・数値は正しいか? 各測点の座標は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 縦断線形 | 全延長 | 線形起終点の測点、標高は正しいか? 縦断変化点の測点、標高は正しいか? 曲線要素は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 出来形横断面形状 | 全延長 | 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? 基準高、幅、法長は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) 3次元設計データ | 全延長 | 入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|--------|--------|---------------|----|----------------------|--|----------------|--|----------|--|---------|-----|--------------|--|---------------------|--|------------------|--|--------------|--|---------|-----|-------------------|--|-------------------|--|------------|--|-------------|-----|------------------------|--|----------------|--|--------------------------|--|-------------|-----|---|--|----|
| <p>様式-1②</p> <p>(レーザースキャナー)</p> <p style="text-align: right;">令和〇年〇月〇日 <u>上 事 名</u> : ○○○〇〇〇〇工事 <u>受注会社名</u> : ○○〇建設(株)</p> <p style="text-align: center;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>対象</th> <th>内容</th> <th>チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1) 基準点及び工事基準点</td> <td rowspan="3">全点</td> <td>監督員の指示した基準点を使用しているか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事基準点の名称は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2) 平面線形</td> <td rowspan="4">全延長</td> <td>起終点の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化点(線形主要点)の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲線要素の種別・数値は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>各測点の座標は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3) 縦断線形</td> <td rowspan="3">全延長</td> <td>線形起終点の測点、標高は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦断変化点の測点、標高は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲線要素は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4) 出来形横断面形状</td> <td rowspan="3">全延長</td> <td>作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基準高、幅、法長は正しいか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか?</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 3次元設計データ</td> <td>全延長</td> <td>入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか?</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | 1) 基準点及び工事基準点 | 全点 | 監督員の指示した基準点を使用しているか? | | 工事基準点の名称は正しいか? | | 座標は正しいか? | | 2) 平面線形 | 全延長 | 起終点の座標は正しいか? | | 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? | | 曲線要素の種別・数値は正しいか? | | 各測点の座標は正しいか? | | 3) 縦断線形 | 全延長 | 線形起終点の測点、標高は正しいか? | | 縦断変化点の測点、標高は正しいか? | | 曲線要素は正しいか? | | 4) 出来形横断面形状 | 全延長 | 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? | | 基準高、幅、法長は正しいか? | | 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか? | | 5) 3次元設計データ | 全延長 | 入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか? | | 削除 |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 基準点及び工事基準点 | 全点 | 監督員の指示した基準点を使用しているか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 工事基準点の名称は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 座標は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 平面線形 | 全延長 | 起終点の座標は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 変化点(線形主要点)の座標は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 曲線要素の種別・数値は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 各測点の座標は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 縦断線形 | 全延長 | 線形起終点の測点、標高は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 縦断変化点の測点、標高は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 曲線要素は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 出来形横断面形状 | 全延長 | 作成した出来形横断面形状の測点、数は適切か? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 基準高、幅、法長は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 出来形計測対象点の記号が正しく付与できているか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) 3次元設計データ | 全延長 | 入力した2)～4)の幾何学形状と出力する3次元設計データは同一となっているか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

ICT活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | |
|--|--|--|
| <p style="text-align: center;">参考資料</p> <p style="text-align: center;">設計データチェックシート</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 30%;"> 参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】 参考資料-2 3次元設計データチェックシート【Type B】 参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】 参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】 参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】 参考資料-6 3次元設計データチェックシート【Type F】 参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】 参考資料-8 基本設計データチェックシート【Type H】 参考資料-9 零部品設計データチェックシート【Type I】 参考資料-10 組立設計データチェックシート【Type J】 参考資料-11 施工設計データチェックシート 参考資料-12 デザインで記載データチェックシート </td><td style="vertical-align: top; width: 70%;"> 参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】 参考資料-2 3次元設計データチェックシート【Type B】 参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】 参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】 参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】 参考資料-6 3次元設計データチェックシート【Type F】 参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】 参考資料-8 基本設計データチェックシート【Type H】 参考資料-9 零部品設計データチェックシート【Type I】 参考資料-10 組立設計データチェックシート【Type J】 参考資料-11 施工設計データチェックシート 参考資料-12 デザインで記載データチェックシート </td></tr> </table> | 参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】 参考資料-2 3次元設計データチェックシート【Type B】 参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】 参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】 参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】 参考資料-6 3次元設計データチェックシート【Type F】 参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】 参考資料-8 基本設計データチェックシート【Type H】 参考資料-9 零部品設計データチェックシート【Type I】 参考資料-10 組立設計データチェックシート【Type J】 参考資料-11 施工設計データチェックシート 参考資料-12 デザインで記載データチェックシート | 参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】 参考資料-2 3次元設計データチェックシート【Type B】 参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】 参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】 参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】 参考資料-6 3次元設計データチェックシート【Type F】 参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】 参考資料-8 基本設計データチェックシート【Type H】 参考資料-9 零部品設計データチェックシート【Type I】 参考資料-10 組立設計データチェックシート【Type J】 参考資料-11 施工設計データチェックシート 参考資料-12 デザインで記載データチェックシート |
| 参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】 参考資料-2 3次元設計データチェックシート【Type B】 参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】 参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】 参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】 参考資料-6 3次元設計データチェックシート【Type F】 参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】 参考資料-8 基本設計データチェックシート【Type H】 参考資料-9 零部品設計データチェックシート【Type I】 参考資料-10 組立設計データチェックシート【Type J】 参考資料-11 施工設計データチェックシート 参考資料-12 デザインで記載データチェックシート | 参考資料-1 3次元設計データチェックシート【Type A】 参考資料-2 3次元設計データチェックシート【Type B】 参考資料-3 3次元設計データチェックシート【Type C】 参考資料-4 3次元設計データチェックシート【Type D】 参考資料-5 3次元設計データチェックシート【Type E】 参考資料-6 3次元設計データチェックシート【Type F】 参考資料-7 3次元設計データチェックシート【Type G】 参考資料-8 基本設計データチェックシート【Type H】 参考資料-9 零部品設計データチェックシート【Type I】 参考資料-10 組立設計データチェックシート【Type J】 参考資料-11 施工設計データチェックシート 参考資料-12 デザインで記載データチェックシート | |

參考資料

設計データチェックシート

| | |
|-------------------------------------|----|
| 参考資料 1 3次元設計データチェックシート [Type A] | 1 |
| 参考資料 2 3次元設計データチェックシート [Type B] | 2 |
| 参考資料 3 3次元設計データチェックシート [Type C] | 3 |
| 参考資料 4 3次元設計データチェックシート [Type D] | 4 |
| 参考資料 5 3次元設計データチェックシート [Type E] | 5 |
| 参考資料 6 3次元設計データチェックシート [Type F] | 6 |
| 参考資料 7 3次元設計データチェックシート [Type G] | 7 |
| 参考資料 8 3次元設計データチェックシート [Type H] | 8 |
| 参考資料 9 改善版3次元設計データチェックシート [Type I] | 9 |
| 参考資料 10 改善版3次元設計データチェックシート [Type J] | 10 |
| 参考資料 11 改善版3次元設計データチェックシート [Type K] | 11 |
| 参考資料 12 デザインで困るデータチェックシート | 12 |

ICT活用工事計画書 新旧対照表

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----|--|------------|------------|---------------|----|--|--|---------|-----|--|--|---------|-----|---|--|-----------|-----|--|--|-------------|-----|--|--|
| <p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">参考資料-1 3次元設計データチェックシート [Type-A]</p> <p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">(様式)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <small>令和〇〇年〇〇月〇〇日</small> <small>主 て ま:</small> <small>受 け て ま:</small> <small>作 成 て ま:</small> 〇〇 </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">対象</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">1) 基準点及び工事基準点</td> <td style="vertical-align: top;">全点</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・点を既存の既定した位置点を適用しているか？ ・座標値の名前は正しいか？ ・座標は正しいか？ ・既定点の初期改正しから？ ・変化点（既定）の初期改正しから？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2) 平面投影</td> <td style="vertical-align: top;">全点元</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・面線要素の差別、系統化正しいか？ ・各面の順序は正しいか？ ・各面の面積、長さは正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">3) 製作投影</td> <td style="vertical-align: top;">全点表</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・面線変化点の位置、位置は正しいか？ ・面線要素は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">4) 出来形求査表</td> <td style="vertical-align: top;">各部長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・形成した山火災地盤面形状の確認、数は適切か？ ・且半径、直、部長は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">5) 3次元表示データ</td> <td style="vertical-align: top;">全点表</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4) の面線形状と出力する3次元表示データが一致しているか？ </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px; font-size: small;"> 記1 各チェック欄用について、チェック結果欄に“〇”と記すこと。 記2 結果表示のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“-”と記すこと。 </p> | 項目 | 対象 | 内容 | チェック 結果 | 1) 基準点及び工事基準点 | 全点 | <ul style="list-style-type: none"> ・点を既存の既定した位置点を適用しているか？ ・座標値の名前は正しいか？ ・座標は正しいか？ ・既定点の初期改正しから？ ・変化点（既定）の初期改正しから？ | | 2) 平面投影 | 全点元 | <ul style="list-style-type: none"> ・面線要素の差別、系統化正しいか？ ・各面の順序は正しいか？ ・各面の面積、長さは正しいか？ | | 3) 製作投影 | 全点表 | <ul style="list-style-type: none"> ・面線変化点の位置、位置は正しいか？ ・面線要素は正しいか？ | | 4) 出来形求査表 | 各部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・形成した山火災地盤面形状の確認、数は適切か？ ・且半径、直、部長は正しいか？ | | 5) 3次元表示データ | 全点表 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4) の面線形状と出力する3次元表示データが一致しているか？ | |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック 結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 基準点及び工事基準点 | 全点 | <ul style="list-style-type: none"> ・点を既存の既定した位置点を適用しているか？ ・座標値の名前は正しいか？ ・座標は正しいか？ ・既定点の初期改正しから？ ・変化点（既定）の初期改正しから？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 平面投影 | 全点元 | <ul style="list-style-type: none"> ・面線要素の差別、系統化正しいか？ ・各面の順序は正しいか？ ・各面の面積、長さは正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 製作投影 | 全点表 | <ul style="list-style-type: none"> ・面線変化点の位置、位置は正しいか？ ・面線要素は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 出来形求査表 | 各部長 | <ul style="list-style-type: none"> ・形成した山火災地盤面形状の確認、数は適切か？ ・且半径、直、部長は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) 3次元表示データ | 全点表 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2)～4) の面線形状と出力する3次元表示データが一致しているか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|------------|------------|-----------------|-----|---|--|---------|-----|---|--|---------|-----|---|--|---------------|-----|--|--|-----------------|-----|--|--|
| <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料 2 3次元設計データチェックシート [Type B] (様式)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 備考欄 上 事 名 : 及 連 真 名 : 作 成 者 : 年 月 日 : </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th><th style="text-align: center;">対象</th><th style="text-align: center;">内容</th><th style="text-align: center;">チェック 結果</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1) 断面設計 工事箇所</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示された居間等を使用しているか？ - 二重床等の構造は正しいか？ - 梁柱は正しいか？ - 脚場柱の立候位置正しいか？ - 開口部（窓等上蓋等）の位置は正しいか？ - 内装設備の箇所・各構造は正しいか？ - 壁面取付位置正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">2) 平面設計</td><td style="text-align: center;">全平面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示された居間等を使用しているか？ - 二重床等の構造は正しいか？ - 梁柱は正しいか？ - 脚場柱の立候位置正しいか？ - 開口部（窓等上蓋等）の位置は正しいか？ - 内装設備の箇所・各構造は正しいか？ - 壁面取付位置正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">3) 斜傾斜形</td><td style="text-align: center;">全傾斜</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 斜傾斜構造の構造、各構造正しいか？ - 斜傾斜化の構造、断面は正しいか？ - 斜傾斜柱は正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">4) 断面構成 別紙</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 断面構成図に示された構造の側面、裏面等はか？ - 構造は正しいか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">5) 3次元設計 データ</td><td style="text-align: center;">全断面</td><td> <ul style="list-style-type: none"> - 入力した2)～4)の各構成状と1)する3次元数 値データとは となっていいるか？ </td><td style="text-align: center;"></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 備考欄 上 事 名 : 及 連 真 名 : 作 成 者 : 年 月 日 : </p> | 項目 | 対象 | 内容 | チェック 結果 | 1) 断面設計 工事箇所 | 全断面 | <ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示された居間等を使用しているか？ - 二重床等の構造は正しいか？ - 梁柱は正しいか？ - 脚場柱の立候位置正しいか？ - 開口部（窓等上蓋等）の位置は正しいか？ - 内装設備の箇所・各構造は正しいか？ - 壁面取付位置正しいか？ | | 2) 平面設計 | 全平面 | <ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示された居間等を使用しているか？ - 二重床等の構造は正しいか？ - 梁柱は正しいか？ - 脚場柱の立候位置正しいか？ - 開口部（窓等上蓋等）の位置は正しいか？ - 内装設備の箇所・各構造は正しいか？ - 壁面取付位置正しいか？ | | 3) 斜傾斜形 | 全傾斜 | <ul style="list-style-type: none"> - 斜傾斜構造の構造、各構造正しいか？ - 斜傾斜化の構造、断面は正しいか？ - 斜傾斜柱は正しいか？ | | 4) 断面構成 別紙 | 全断面 | <ul style="list-style-type: none"> - 断面構成図に示された構造の側面、裏面等はか？ - 構造は正しいか？ | | 5) 3次元設計 データ | 全断面 | <ul style="list-style-type: none"> - 入力した2)～4)の各構成状と1)する3次元数 値データとは となっていいるか？ | |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック 結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 断面設計 工事箇所 | 全断面 | <ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示された居間等を使用しているか？ - 二重床等の構造は正しいか？ - 梁柱は正しいか？ - 脚場柱の立候位置正しいか？ - 開口部（窓等上蓋等）の位置は正しいか？ - 内装設備の箇所・各構造は正しいか？ - 壁面取付位置正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 平面設計 | 全平面 | <ul style="list-style-type: none"> - 断面図が示された居間等を使用しているか？ - 二重床等の構造は正しいか？ - 梁柱は正しいか？ - 脚場柱の立候位置正しいか？ - 開口部（窓等上蓋等）の位置は正しいか？ - 内装設備の箇所・各構造は正しいか？ - 壁面取付位置正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 斜傾斜形 | 全傾斜 | <ul style="list-style-type: none"> - 斜傾斜構造の構造、各構造正しいか？ - 斜傾斜化の構造、断面は正しいか？ - 斜傾斜柱は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 断面構成 別紙 | 全断面 | <ul style="list-style-type: none"> - 断面構成図に示された構造の側面、裏面等はか？ - 構造は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) 3次元設計 データ | 全断面 | <ul style="list-style-type: none"> - 入力した2)～4)の各構成状と1)する3次元数 値データとは となっていいるか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------|---|------------|------------|-------------------|----|--|--|---------|-----|---|--|---------|-----|---|--|---------|-----------|--|--|-----------------|-----|---|--|
| <p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">参考資料 3：3次元設計データチェックシート [Type 0]</p> <p style="text-align: right; margin-bottom: 0;">(様式)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 令和〇〇年〇〇月〇〇日 丁 岁 名： 会員 名： 作 成 者： 印 </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 15%;">対象</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 10%;">チェック 品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 30px;">1) 施工工事及び 工具機器</td> <td style="height: 30px;">企画</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・監視装置の掲示した基準と実測しているか？ ・工具機器名の名前と一致しているか？ ・機種に合っているか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;">2) 空間形状</td> <td style="height: 30px;">企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・監修者の名前は正しいか？ ・監修者（監修役）の名前は正しいか？ ・監修元の名前と監修役名が正しいか？ ・監修者の機種は正しいか？ ・監修記録の用意、算出は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;">3) 建物構造</td> <td style="height: 30px;">企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・複数化された用語、書類は正しいか？ ・基準式式は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;">4) 断面構造</td> <td style="height: 30px;">企画長 監修</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した断面構造図が断面の断点、段は正確か？ ・監修員、印、印などに寸法は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="height: 30px;">5) 3次元設計 データ</td> <td style="height: 30px;">企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・人力した 3)～4) の総合、3D と人力する 3次元設 計データ（データ）となっているか？ </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”と記入すること。 ※2 記述欄でのデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“-”と記入すること。</p> | 項目 | 対象 | 内容 | チェック 品目 | 1) 施工工事及び 工具機器 | 企画 | <ul style="list-style-type: none"> ・監視装置の掲示した基準と実測しているか？ ・工具機器名の名前と一致しているか？ ・機種に合っているか？ | | 2) 空間形状 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・監修者の名前は正しいか？ ・監修者（監修役）の名前は正しいか？ ・監修元の名前と監修役名が正しいか？ ・監修者の機種は正しいか？ ・監修記録の用意、算出は正しいか？ | | 3) 建物構造 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・複数化された用語、書類は正しいか？ ・基準式式は正しいか？ | | 4) 断面構造 | 企画長 監修 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成した断面構造図が断面の断点、段は正確か？ ・監修員、印、印などに寸法は正しいか？ | | 5) 3次元設計 データ | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・人力した 3)～4) の総合、3D と人力する 3次元設 計データ（データ）となっているか？ | |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック 品目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 施工工事及び 工具機器 | 企画 | <ul style="list-style-type: none"> ・監視装置の掲示した基準と実測しているか？ ・工具機器名の名前と一致しているか？ ・機種に合っているか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 空間形状 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・監修者の名前は正しいか？ ・監修者（監修役）の名前は正しいか？ ・監修元の名前と監修役名が正しいか？ ・監修者の機種は正しいか？ ・監修記録の用意、算出は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 建物構造 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・複数化された用語、書類は正しいか？ ・基準式式は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 断面構造 | 企画長 監修 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成した断面構造図が断面の断点、段は正確か？ ・監修員、印、印などに寸法は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) 3次元設計 データ | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・人力した 3)～4) の総合、3D と人力する 3次元設 計データ（データ）となっているか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|--------|--------|--------------------|----|---|--|-----------------|----|---|--|
| <p style="text-align: right;">参考資料4 3次元設計データチェックシート (Type-B)</p> <p style="text-align: right;">(様式)</p> <p style="text-align: right;">令和3年3月30日</p> <p style="text-align: right;">工事名: _____</p> <p style="text-align: right;">受注者名: _____</p> <p style="text-align: right;">作成者: _____ 31</p> <p style="text-align: center;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 5px;">項目</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">質問</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">内容</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">1) 基準三次元 (事務機器)</td> <td style="padding: 5px;">会員</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・監修機器の押印した添付函を使用しているか? ・工事監査票の添付函は正しいか? ・添付は正しいか? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2) 3次元設計 データ</td> <td style="padding: 5px;">会員</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した設計監査票と当方の3次元設計データは同一となっているか? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※) 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”と記すこと。 ※) 該当欄のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“—”と記すこと。</p> | 項目 | 質問 | 内容 | チェック結果 | 1) 基準三次元 (事務機器) | 会員 | <ul style="list-style-type: none"> ・監修機器の押印した添付函を使用しているか? ・工事監査票の添付函は正しいか? ・添付は正しいか? | | 2) 3次元設計 データ | 会員 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した設計監査票と当方の3次元設計データは同一となっているか? | |
| 項目 | 質問 | 内容 | チェック結果 | | | | | | | | | |
| 1) 基準三次元 (事務機器) | 会員 | <ul style="list-style-type: none"> ・監修機器の押印した添付函を使用しているか? ・工事監査票の添付函は正しいか? ・添付は正しいか? | | | | | | | | | | |
| 2) 3次元設計 データ | 会員 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した設計監査票と当方の3次元設計データは同一となっているか? | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----|--|-----------|-----------|-------------|----|--|---|---------|----|--|---|-------------|----|--|---|-------------|----|--|---|
| <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料-5 3次元設計データチェックシート [Type-E] (様式)</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 令和〇〇年〇〇月〇〇日 工 種 名： 施 工 名： 施 工 方：印 </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th><th style="text-align: center;">対象</th><th style="text-align: center;">内容</th><th style="text-align: center;">手入力 可能</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1) 基本及び上位規範</td><td style="text-align: center;">全般</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・監査機関が策定した基準を適用しているか？ ・「基本規範」の名称に正しくない？ ・監査機関の名称？ ・規範名の記載位置正しい？ ・変化点（基準下限値）の表現は正しい？ ・並び表記の種別・値値が正し？ ・各規範の適用に正しく？ </td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">2) 施工範囲</td><td style="text-align: center;">全般</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・技術基準の割合、基準は正しい？ ・技術基準の割合、基準は正しい？ ・並び表示は正しい？ ・作成した書類が施工前の段階で、既に達成か？ ・基準名、種、深さは正しい？ </td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">3) 基本規範適用区分</td><td style="text-align: center;">全般</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した表へ「1」の値が表示されたりするデータ がデータは同一となっているか？ </td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">4) 3次元設計データ</td><td style="text-align: center;">全般</td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px; font-size: small;"> 注：各チェックボックスにて、チェック結果欄に“〇”と記すこと。 また該当項目のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“—”と記すこと。 </p> | 項目 | 対象 | 内容 | 手入力 可能 | 1) 基本及び上位規範 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・監査機関が策定した基準を適用しているか？ ・「基本規範」の名称に正しくない？ ・監査機関の名称？ ・規範名の記載位置正しい？ ・変化点（基準下限値）の表現は正しい？ ・並び表記の種別・値値が正し？ ・各規範の適用に正しく？ | ○ | 2) 施工範囲 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術基準の割合、基準は正しい？ ・技術基準の割合、基準は正しい？ ・並び表示は正しい？ ・作成した書類が施工前の段階で、既に達成か？ ・基準名、種、深さは正しい？ | ○ | 3) 基本規範適用区分 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した表へ「1」の値が表示されたりするデータ がデータは同一となっているか？ | ○ | 4) 3次元設計データ | 全般 | | ○ |
| 項目 | 対象 | 内容 | 手入力 可能 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 基本及び上位規範 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・監査機関が策定した基準を適用しているか？ ・「基本規範」の名称に正しくない？ ・監査機関の名称？ ・規範名の記載位置正しい？ ・変化点（基準下限値）の表現は正しい？ ・並び表記の種別・値値が正し？ ・各規範の適用に正しく？ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 施工範囲 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術基準の割合、基準は正しい？ ・技術基準の割合、基準は正しい？ ・並び表示は正しい？ ・作成した書類が施工前の段階で、既に達成か？ ・基準名、種、深さは正しい？ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 基本規範適用区分 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した表へ「1」の値が表示されたりするデータ がデータは同一となっているか？ | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 3次元設計データ | 全般 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------|--|--------|------|---|----|----|----|--------|-----------------|-----------|--|--|---------|-----|---|--|---------|-----|--|--|-----------------|-----|---|--|---------|-----------|---|--|-----------------|-----|--|--|
| <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料-6 3次元設計データチェックシート [Type-F]</p> <p style="text-align: right;">(様式)</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">工事名:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">実施者名:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">作成者:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">印</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">3次元設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">対象</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 施設記述 計画書等</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・監修担当者が記した活動区分を採用しているか？ ・工事店舗名の各階層にしっかりついてるか？ ・バリアは正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 平面配置</td> <td>企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地点の座標は正しいか？ ・変化点（深幅・高さ）の種別記述正しいか？ ・各階層の柱の柱頭・柱底記述正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 高低表示</td> <td>企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・各測点の座標は正しいか？ ・高さ記述の段差、標高は正しいか？ ・傾斜度表示の測点、東西南北正しいか？ ・上級要素は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>4) 施設内構造物 構成</td> <td>企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した日本標準建築表示の構成、読み込みがいい？ ・基礎図、構造図は正しいか？ ・技術方針と算子起算点の相性は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>5) 施設実施</td> <td>企画 企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・実施は正しいか？ </td> <td></td> </tr> <tr> <td>6) 3次元設計 データ</td> <td>企画長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2D～3Dの入力結果が出来形質準備検査構成の3次元設計データとなっているか？ （工事企体との相違箇所記載しているか） </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”と記すこと。 ※2 該当2以上のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“—”と記すこと。</p> | 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | 工事名: | 実施者名: | 作成者: | 印 | 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | 1) 施設記述 計画書等 | 企画 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・監修担当者が記した活動区分を採用しているか？ ・工事店舗名の各階層にしっかりついてるか？ ・バリアは正しいか？ | | 2) 平面配置 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・敷地点の座標は正しいか？ ・変化点（深幅・高さ）の種別記述正しいか？ ・各階層の柱の柱頭・柱底記述正しいか？ | | 3) 高低表示 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・各測点の座標は正しいか？ ・高さ記述の段差、標高は正しいか？ ・傾斜度表示の測点、東西南北正しいか？ ・上級要素は正しいか？ | | 4) 施設内構造物 構成 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成した日本標準建築表示の構成、読み込みがいい？ ・基礎図、構造図は正しいか？ ・技術方針と算子起算点の相性は正しいか？ | | 5) 施設実施 | 企画 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施は正しいか？ | | 6) 3次元設計 データ | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2D～3Dの入力結果が出来形質準備検査構成の3次元設計データとなっているか？ （工事企体との相違箇所記載しているか） | |
| 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事名: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施者名: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 作成者: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 施設記述 計画書等 | 企画 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・監修担当者が記した活動区分を採用しているか？ ・工事店舗名の各階層にしっかりついてるか？ ・バリアは正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 平面配置 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・敷地点の座標は正しいか？ ・変化点（深幅・高さ）の種別記述正しいか？ ・各階層の柱の柱頭・柱底記述正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 高低表示 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・各測点の座標は正しいか？ ・高さ記述の段差、標高は正しいか？ ・傾斜度表示の測点、東西南北正しいか？ ・上級要素は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 施設内構造物 構成 | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・作成した日本標準建築表示の構成、読み込みがいい？ ・基礎図、構造図は正しいか？ ・技術方針と算子起算点の相性は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5) 施設実施 | 企画 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6) 3次元設計 データ | 企画長 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力した2D～3Dの入力結果が出来形質準備検査構成の3次元設計データとなっているか？ （工事企体との相違箇所記載しているか） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|--|------------|------------|------------------|----|--|--|--------|-----|--|--|--------|-----|--|--|---------------|-----|--|--|--|
| <p style="text-align: right;">参考資料-7 基本設計データチェックシート [Type-A] (様式)</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日 上 申 名： 会 社 名： 作 成 者： 印</p> <p style="text-align: center;">基本設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">文句</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-top: none;">1) 施設及び 工事実施部</td> <td style="border-top: none;">会社</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・監督機関の表示した基準に適合しているか？ ・工事実施部の名称は正しいか？ ・施設に付しいか？ ・施設名の属性に付しいか？ ・変化点（新規に変更）の点検は正しいか？ ・床面変点の選別・候補に付しいか？ ・各部位の形状は正しいか？ </td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border-top: none;">2) 平面図</td> <td style="border-top: none;">会社長</td> <td></td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border-top: none;">3) 施設図</td> <td style="border-top: none;">会社長</td> <td></td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border-top: none;">4) 施設断面図 等</td> <td style="border-top: none;">会社長</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・断面は断面の測定、検査は正しいか？ ・断面変化点が適切、は實現正しいか？ ・床面変点は正しいか？ ・作成した背景の接合部形状の検査、強度検討が？ ・蓋板等、壁、柱は正しいか？ ・引張部材に対する点の記入が正しく取りできているか？ </td> <td style="border-top: none;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※1 各チェック項目について、該当する箇所に“〇”を記すこと。 ※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、サムネイル写真欄に“×”を記すこと。</p> | 項目 | 文句 | 内容 | チェック 結果 | 1) 施設及び 工事実施部 | 会社 | <ul style="list-style-type: none"> ・監督機関の表示した基準に適合しているか？ ・工事実施部の名称は正しいか？ ・施設に付しいか？ ・施設名の属性に付しいか？ ・変化点（新規に変更）の点検は正しいか？ ・床面変点の選別・候補に付しいか？ ・各部位の形状は正しいか？ | | 2) 平面図 | 会社長 | | | 3) 施設図 | 会社長 | | | 4) 施設断面図 等 | 会社長 | <ul style="list-style-type: none"> ・断面は断面の測定、検査は正しいか？ ・断面変化点が適切、は實現正しいか？ ・床面変点は正しいか？ ・作成した背景の接合部形状の検査、強度検討が？ ・蓋板等、壁、柱は正しいか？ ・引張部材に対する点の記入が正しく取りできているか？ | | |
| 項目 | 文句 | 内容 | チェック 結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 施設及び 工事実施部 | 会社 | <ul style="list-style-type: none"> ・監督機関の表示した基準に適合しているか？ ・工事実施部の名称は正しいか？ ・施設に付しいか？ ・施設名の属性に付しいか？ ・変化点（新規に変更）の点検は正しいか？ ・床面変点の選別・候補に付しいか？ ・各部位の形状は正しいか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 平面図 | 会社長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 施設図 | 会社長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 施設断面図 等 | 会社長 | <ul style="list-style-type: none"> ・断面は断面の測定、検査は正しいか？ ・断面変化点が適切、は實現正しいか？ ・床面変点は正しいか？ ・作成した背景の接合部形状の検査、強度検討が？ ・蓋板等、壁、柱は正しいか？ ・引張部材に対する点の記入が正しく取りできているか？ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|--------|--------|-----------------|----|---|--|---------|----|---|--|---------|----|--|--|-------------------|----|--|--|
| <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">参考資料-8 基本設計データチェックシート [Type-B] (様式)</p> <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">令和〇〇年〇〇月〇〇日 上 事業者 受注者名 作成者 印</p> <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">基本設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 5px;">項目</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">対象</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">内容</th> <th style="text-align: left; padding: 5px;">チェック結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">1) 施設区分 工事区分</td> <td style="padding: 5px;">全般</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示した活用を実現しているか? ・丁寧施設の外見は正しいか? ・選択肢は正しいか? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2) 施設各部</td> <td style="padding: 5px;">全般</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の面積は正しいか? ・既存工事(既存主要工事)の位置は正確ですか? ・主要要素の配置・強度は正しいか? ・各部工事の構造は正しいか? ・改修部位の位置、位置は正しいか? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3) 改修箇所</td> <td style="padding: 5px;">全般</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・改修部位の位置、位置は正しいか? ・改修部位の形状、形状は正しいか? ・改修要素は正しいか? ・改修した構造形態新旧形状の説明、説明書は? ・確・疑問事項は? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4) 仕事票 指揮マニュアル</td> <td style="padding: 5px;">全般</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・改修箇所付箋票の記号が正しく付与できているか? </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: -20px;">※1 各チェック項目について、チェック結果欄に“〇”と記載した。 ※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に“—”と記載した。</p> | 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | 1) 施設区分 工事区分 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示した活用を実現しているか? ・丁寧施設の外見は正しいか? ・選択肢は正しいか? | | 2) 施設各部 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の面積は正しいか? ・既存工事(既存主要工事)の位置は正確ですか? ・主要要素の配置・強度は正しいか? ・各部工事の構造は正しいか? ・改修部位の位置、位置は正しいか? | | 3) 改修箇所 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修部位の位置、位置は正しいか? ・改修部位の形状、形状は正しいか? ・改修要素は正しいか? ・改修した構造形態新旧形状の説明、説明書は? ・確・疑問事項は? | | 4) 仕事票 指揮マニュアル | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修箇所付箋票の記号が正しく付与できているか? | |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 施設区分 工事区分 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の表示した活用を実現しているか? ・丁寧施設の外見は正しいか? ・選択肢は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 施設各部 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の面積は正しいか? ・既存工事(既存主要工事)の位置は正確ですか? ・主要要素の配置・強度は正しいか? ・各部工事の構造は正しいか? ・改修部位の位置、位置は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 改修箇所 | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修部位の位置、位置は正しいか? ・改修部位の形状、形状は正しいか? ・改修要素は正しいか? ・改修した構造形態新旧形状の説明、説明書は? ・確・疑問事項は? | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4) 仕事票 指揮マニュアル | 全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修箇所付箋票の記号が正しく付与できているか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---|------------|----|------------|--------|----|---|--|----------|----|--|--|
| | <p style="text-align: center;">参考資料-9 地盤改良設計データチェックシート【Type-A】</p> <p style="text-align: center;">(様式)</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;">工 事 名：_____</p> <p style="text-align: right;">業 主 名：_____</p> <p style="text-align: right;">作 成 者：_____ 頁_____</p> <p style="text-align: center;">地盤改良設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">項目</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">対象</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">内容</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">1) 平面図</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">全点</td> <td style="text-align: left; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良工事範囲は正しいですか？ ・区画名・管渠ブラックの接続は正しいですか？ ・管渠ブラックの幅・奥行き・高さは正しいですか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">2) 施設記入欄</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">全点</td> <td style="text-align: left; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての区画別の施設（例）又は機器（例）は正しいですか？ </td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 各チェック欄について、チェック結果欄に“〇”と記入すること。 ※2 記号欄のアーティラリーが無い場合は、チェック結果欄に“-”と記入すること。</p> | 項目 | 対象 | 内容 | チェック 結果 | 1) 平面図 | 全点 | <ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良工事範囲は正しいですか？ ・区画名・管渠ブラックの接続は正しいですか？ ・管渠ブラックの幅・奥行き・高さは正しいですか？ | | 2) 施設記入欄 | 全点 | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての区画別の施設（例）又は機器（例）は正しいですか？ | |
| 項目 | 対象 | 内容 | チェック 結果 | | | | | | | | | | |
| 1) 平面図 | 全点 | <ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良工事範囲は正しいですか？ ・区画名・管渠ブラックの接続は正しいですか？ ・管渠ブラックの幅・奥行き・高さは正しいですか？ | | | | | | | | | | | |
| 2) 施設記入欄 | 全点 | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての区画別の施設（例）又は機器（例）は正しいですか？ | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|-------------|------|-------|------|---|--|----|----|------------|-------|--|--|-------|---|--|-------|---|--|
| | <p style="text-align: center;">参考資料-10 地盤改良設計データチェックシート [Type-B] (様式)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: right; padding-right: 5px;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</td> <td style="width: 10%; text-align: left; padding-left: 5px;">工事名:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 5px;">受注者名:</td> <td style="text-align: left; padding-left: 5px;">作成者:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; padding-right: 5px;">印</td> <td style="text-align: left; padding-left: 5px;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">地盤改良設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 30%;">チェック 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1) 平面</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤座標 (x座標, y座標) (複数箇所がある場合は複数) は正しいか? </td> <td></td> </tr> <tr> <td>2) 断面</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・改良後天端の標高と施工式量からの計算値・改良体底面 標の標高が同じであるか? ・施工断面の凹凸が正しいか? </td> <td></td> </tr> <tr> <td>3) 施設</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・設計データに入力した折線のは、設計点間を直線している か? (直線) ・設計データに入力した折線のは、設計点間を曲線している か? (サンドル・カントリッシュ・ルートの場合) </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 各セルに記入について。チェック結果欄に“〇”を記入のこと。 ※2 該当項目のデータ入力が無い場合は、チェック結果欄に “ ” を記入のこと。</p> | 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | 工事名: | 受注者名: | 作成者: | 印 | | 項目 | 内容 | チェック 結果 | 1) 平面 | <ul style="list-style-type: none"> ・地盤座標 (x座標, y座標) (複数箇所がある場合は複数) は正しいか? | | 2) 断面 | <ul style="list-style-type: none"> ・改良後天端の標高と施工式量からの計算値・改良体底面 標の標高が同じであるか? ・施工断面の凹凸が正しいか? | | 3) 施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・設計データに入力した折線のは、設計点間を直線している か? (直線) ・設計データに入力した折線のは、設計点間を曲線している か? (サンドル・カントリッシュ・ルートの場合) | |
| 令和〇〇年〇〇月〇〇日 | 工事名: | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受注者名: | 作成者: | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 内容 | チェック 結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1) 平面 | <ul style="list-style-type: none"> ・地盤座標 (x座標, y座標) (複数箇所がある場合は複数) は正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2) 断面 | <ul style="list-style-type: none"> ・改良後天端の標高と施工式量からの計算値・改良体底面 標の標高が同じであるか? ・施工断面の凹凸が正しいか? | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3) 施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・設計データに入力した折線のは、設計点間を直線している か? (直線) ・設計データに入力した折線のは、設計点間を曲線している か? (サンドル・カントリッシュ・ルートの場合) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

I C T 活用工事計画書 新旧対照表

| 現 行 | 改 定 | | | | | | | | | |
|--|--|---------|---------|--------|---|--|--------|--|--|--|
| <p style="text-align: center;">参考資料-12 ドレン等設計データチェックシート (様式)</p> <p style="text-align: right;">令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p style="text-align: right;">上 申 者： 受注者： 作 成 者：</p> <p style="text-align: center;">ドレン等設計データチェックシート</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目</th><th style="text-align: center;">内容</th><th style="text-align: center;">備考 欄</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1) 平地用</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン等の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 </td><td></td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">2) 斜面用</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレン等施設の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 ・斜面の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 </td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※1 各チェック項目について、チェック欄裏間に“〇”を記入すること。 ※2 複数項目のデータ入力が無い場合は、チェック欄裏間に“×”を記入すること。</p> | 項目 | 内容 | 備考 欄 | 1) 平地用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン等の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 | | 2) 斜面用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドレン等施設の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 ・斜面の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 | | |
| 項目 | 内容 | 備考 欄 | | | | | | | | |
| 1) 平地用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン等の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 | | | | | | | | | |
| 2) 斜面用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドレン等施設の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 ・斜面の有無(左：未実施、右：実施)に応じる。 | | | | | | | | | |